

大型紙芝居（OK）

番号	タイトル	内容
OK1	『おおきく おおきく おおきくなあれ』 まついのりこ／脚本・絵 	ちっちゃなちっちゃなぶたがいます。みんなで、「おおきく おおきく おおきくなあれ」というと、大きなぶたになりました。つぎは、小さなたまごです。「おおきく おおきく おおきくなあれ」というと、大きくなったたまごがわれて……。 8場面
OK2	『おとうさん』 与田準一／脚本 田畑精一／絵 	ひとりぼっちの魔もののマンガラン・グリーン・ベクーは、おとうさんに化けて、水あそびをしている子どもをさらいました。本物のおとうさんとそっくりでわからないので、島の王様にさいばんできめてもらうことになりました……。 12場面
OK3	『たべられたやまんば』 松谷みよ子／脚本 二俣英五郎／絵 	山のお寺のこぞうさんが、山へくりひろいに行くときのおばあさんが出てきて遊びにおいでとさそいます。こぞうさんは、おしょうさんがとめるのもきかず、おばあさんの家へ行くと、くりを煮てまっていたのですが……。 16場面
OK4	『くれよんさんのけんか』 八木田宣子／脚本 田畑精一／絵 	せっちゃんのくれよん箱からとびだした、赤と黄色のくれよんは、あれあれ、けんかをはじめてしまいました。そこで、くだもの絵をかいて、勝負をつけることになりました。赤はリンゴ、黄色はバナナをかきますが……。 12場面
OK5	『あひるのおうさま』 堀尾青史／脚本 田島征三／絵 	王様にかしたお金をかえしてもらいに、アヒルは旅立ちました。とちゅうで、キツネとハチにであい、おなかの中に入れてつれていきました。ところが王様は、アヒルを殺そうと……。 12場面

番号	タイトル	内容
OK6	『したきりすずめ』 松谷みよ子／脚本 堀内誠一／絵	じいは畑で、すずめをひろいました。ちよんと名前をつけてかわいがっていたのですが、ばあはおもしろくありません。ばあが煮たのりをなめてしまったので、ばあはおこって、ちよんの舌をきってしまいました。
		16場面
OK7	『こねこのしろちゃん』 堀尾青史／脚本 和歌山静子／絵	おかあさんも四ひきのきょうだいも、みんなまっくらなのに、一ぴきだけ、なぜかまっしろなこねこのしろちゃん。しろちゃんは、みんなと同じようにくろくなりたくて、どろんこにころがったりします。でも、ある日……！？
		12場面
OK8	『なんにもせんにん』 巖谷小波／原作 川崎大治／脚本 さとうわきこ／絵	なまけ者のたすけの家にやってきたなんにもせんにんは、たすけがなまけていると、どんどん大きくなっていきます。あんまり大きくなりすぎて、たすけは家に入ることもできなくなってしまいました。そこで……。
		12場面
OK9	『おうさまさぶちゃん』 馬場のぼる／脚本・絵	字もかけるし、かずもかぞえられるのに、さぶちゃんはどうしてだか、洋服がひとりでは着られません。大いばりでみんなママに着せてもらいます。そのえらそうなようすを見て、ポツカリ島の大臣たちが王さまにしよう……！？
		12場面
OK10	『みんなでぼん！』 まついのちこ／脚本・絵	大きな白い丸が一つ。みんなと一緒に「ぼん！」と手をたたくと、中からこびとが飛び出します。つぎは白い四角からロボットが……。みんなで心をあわせて手をたたくと、楽しいおともだちがとびだしてくる。うれしさがひろがります。
		8場面
OK11	『おだんごころころ』 坪田譲治／脚本 二俣英五郎／絵	おじいさんのおだんごがころがって、おじぞうさまのところへ落ちました。おだんごをあげると、おじぞうさまは頭の上へのぼれといいます。そこへ鬼たちがやってきて、酒もりの大さわぎ。おじいさんがニワトリの鳴きまねをすると……。
		12場面

番号	タイトル	内容
OK12	『あわてないあわてない』(地震) 仲川道子／脚本・絵 東京消防庁／協力	お昼寝の時間、ゴゴゴゴーツ、誰のいびき？と思ったら、本当の地震！みんなが大騒ぎしている時にメエコ先生が「大丈夫よ！あわてないあわてない」と言ってくれて…。 防災について学ぶ大型紙しばいシリーズ。
		12場面
OK13	『いなむらの火』(津波) 川崎大治／脚本 降矢洋子／絵	グラグラーツ、ゴーツ…。地震にあった浜口儀兵衛が海岸から沖へ目をうつすと、海の水が沖へ沖へとひいていく。「津波がくる…！」実話を元にした感動の物語。 防災について学ぶ大型紙しばいシリーズ。
		16場面
OK14	『台風がきたぞ』(台風) 千世繭子／脚本 東京消防庁／協力	台風が近づいてきたので、早めに避難することにしたなおやの家族たち。最初はわくわくしていたなおやですが、外は激しい雨と風。妹の帽子が風に飛ばされ、土砂崩れがあつて危機一髪！ 防災について学ぶ大型紙しばいシリーズ。
		12場面
OK15	『おばけの森』 (おはなし小道具) 藤田浩子／さく 小林恭子／さく	子ども参加型おはなしカード。分かれ道のたびに子どもに道を選ばせ、妖怪が出たらスタートへ逆戻り。6枚9場面のカードは入れ替え可能で、何度遊んでも飽きない。慣れた方向きに著者の語り例を2種類掲載。 大型サイズではありません。
		6場面
OK16	『ごきげんのわるいコックさん』 まついのりこ／脚本・絵	ごきげんのわるいコックさんがいるね。「ごきげんなおしてよ」といいながら画面をぬくと、あれあれ、顔がぐーんと横に伸びて、もっとごきげんが悪くなってしまったよ。みんなで「コックさん、こっち向いて」と声をかけよう！
		12場面
OK17	『もみもみおもしろい』 とよた かずひこ／脚本・絵	もみもみおもしろい』は、くまのおもしろい。やわらかな大きな手でもみもみしてもらおうと、痛いところ、悪いところが、みーんな治ってしまいます。ある時、へびくんが、おなかが痛いとやってきて…。
		8場面

番号	タイトル	内容
OK17	『でんしゃがくるよ』 とよた かずひこ／脚本・絵	車が通らない小さなふみきりに、お父さんとやってきた男子。かんかんかんかんかんかん……くるよ、くるよ、電車がくるよ。
		8場面
OK18	『はい、タッチ』 とよた かずひこ／脚本・絵	いろいろな動物がでてきて、“はい、タッチ”。たろうくと、かいじゅうさんは!? みおわったら、みんなでタッチしてみよう!
		8場面
OK19	『りんごくんのおうちはどこ?』 とよた かずひこ／脚本・絵	りんごくんがころがった。「ぼくのおうちはどこだっけ?」りんごくんはトコトコいきます。りんごくんのおうちは、なにやさんかな?
		8場面